

# News Release

HP10002 (2010.9.27)

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

## 平成 22 年度クリーニング利用者意識調査 今年度は 20 代・30 代のクリーニングに対する意識を探る

中央青年部会（片岡芳規部会長）の需要開発研究委員会（西村英男委員長）では、9月18日（土）から1ヶ月間、全国で平成22年度の「クリーニングサービスに関する利用者意識調査」を開始している。

近年、クリーニング需要はいわゆる団塊世代の大量退職や、クールビズ・ウォームビズ化、カジュアル化等の軽装化の影響を受けて減少しており、今後日本の人口全体が減少していくことからますます低迷することが懸念される。

そこで本委員会での協議の結果、近い将来クリーニング需要の中心となる可能性が大いにある「需要次世代」、つまり20代・30代の利用者にターゲットを絞り、アンケートテーマを「20代・30代の利用者のクリーニングに対する意識」として全国的に調査を行うことを決定した。具体的には「クリーニング店を選ぶ際に主に参考にする情報」「クリーニング店で利用してみたい各種サービス」など、20代・30代の利用者ニーズやクリーニングに対する意識について調査し、今後の販促に活用できるような設問を設定している。今回は調査対象を20代・30代に絞りピンポイントで調査を行うが、これにより明確な調査結果を導き利用者のニーズやライフスタイルを分析することが、今後のクリーニング業界への布石となると思われる。

スケジュールは下記の通りとなっており、ぜひともこのアンケートにご注目いただきたい。

調査内容 別紙参照

調査期間 9月18日（土）～10月17日（日）

調査方法 ・全国の青年部員が、各地域で一人あたり10名の利用者に対して聞き取る方法  
・クリーニングの日キャンペーンに伴って、全ク連・中青会並びに各組合・各青年部が街頭等で行う方法  
・インターネット上で利用者が回答する方法  
(<http://www.cleaning-seinenbu.net/>)

報告書の完成 平成23年3月下旬

< 問い合わせ先 >

担当：全ク連 / 滝口、堀川、山内  
電話：03-5362-7201